



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.8
令和7年 5月 1日
文責:校長 酒井 健

【校長のひとりごと】

今回は、「校長のひとりごと」だけの特別号です。

子ども一人一人、様々な想いや願い、時には悩みをもって生活しています。ストレスを抱えていることもあります。その悩みや想いを汲み取って、我々大人は言葉かけをしていきたいものですね。

今回は、子どもをどのようにとらえていくか・・・ということについて、少しお話をさせてください。

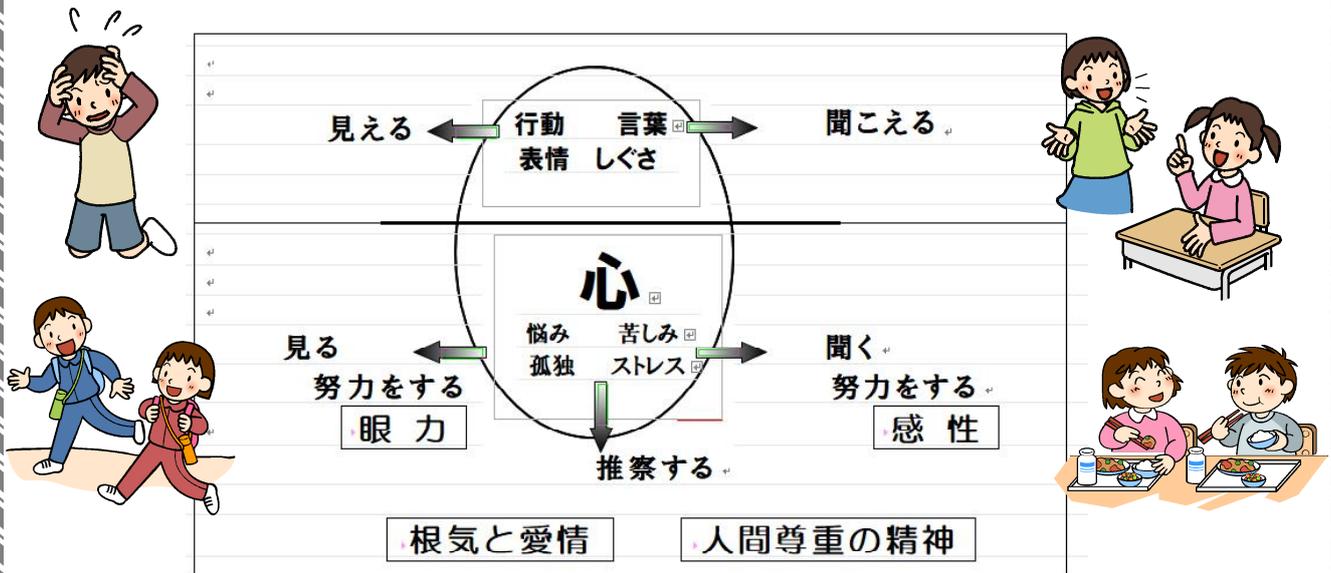
「子どもの本音が見える大人」になりたいものです。

ご家庭においても、お子様をご指導すること・・・ありますよね。

私も息子を叱る、または怒ることがありました。手をあげたことは・・・どうだったかな？それは、きっとなかったと記憶しています。だいたい、叱る時は、目に見える、耳で聞こえることに対して叱っていました。でも、今、考えると、それはどうだったのだろうと感じます。

下の図のように、目で見える、耳で聞こえるのは、「行動、言葉、表情、しぐさ」等です。でも、それらの下に、目では見えない、耳では聞こえない「悩み、苦しみ、孤独、ストレス」・・・つまり「心」が動いています。その「心」の部分が要因となって、行動や言葉などに表れていることが多くあります。

私たち大人は、この、子どもたちの「心」を感じ取りたいものです。子どもたちの「心」を見る努力、聞く努力が必要です。子どもの心の声にそっと耳を傾ける・・・子どもの心の叫びを感じ取る・・・「心に寄り添う」・・・そこが大きなポイントなんだなと思っています。



保護者の皆様も、私たち教職員も、子どもたちの心に寄り添って、子どもたちの心を見る眼力と、心聞く感性を大切にしていきたいものですね。それには、「根気と愛情」「人間尊重の精神」が不可欠なのかな・・・と思います。子どもたちの心をそっとのぞいてみましょう。

保護者の皆様へお願い



春、暖かくなってきて、郡山市内どこでも、自転車に乗っている子どもたちをたくさん見かけるようになってきました。「必ずヘルメットを着用する」「乗っていい範囲は、1・2年生→家の周り、3・4年生→各方部の中、5・6年生→学区内」これは、安積三小の約束事です。必ず守りましょう。